

8月は「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」です

「同和問題の解決は国の責務であり、国民的な課題である」ことを明らかにした国の同和対策審議会答申が1965（昭和40）年8月に出されました。大分県では、答申が出された8月を「部落差別等あらゆる不当な差別をなくす運動月間」と定めています。

令和7年度人権フェスティバル人権標語「最優秀賞」作品

あたたかい はるのひみtaina ころであそぼ
杵築市立東小学校 1年 本山 凜

わるぐち こころ のこ あな
悪口は 心に残る 穴があく
杵築市立杵築中学校 1年 中根 恵和

かんが じぶん あいて たいせつ
考えて！ 自分も相手も 大切に
杵築市立豊洋小学校 2年 佐藤 良喜

だいじょうぶ むり
大丈夫？ みんなにあわせて 無理すんな
杵築市立宗近中学校 2年 松重 晶泉

あたた きも
温かい 気持ちがつたわる ありがとう
杵築市立北杵築小学校 3年 岸川 真

ひとこと こ せい はなひら
一言で あなたの個性 花開く
杵築市立山香中学校 3年 玉井 葉夏

いやなこと あったらわたしに おしえてね
杵築市立山香小学校 4年 鶴 結月

せいべつ きみ き
「性別」で 君のすべては 決まらない
大分県立杵築高等学校 1年 小林 礼

だいじょうぶ きみ こ せい
大丈夫 それも君の 個性だよ
杵築市立立石小学校 5年 首藤 真秀

かがや みりよく きみ
「ちがい」こそ 輝く魅力 君だけの
大分県立杵築高等学校 2年 佐藤 瑚恋

おも つよ しるし えがお め
思いやり 強さの印 笑顔の芽
杵築市立山香小学校 6年 古屋 紗来良

ふ つう ふ つう きじゅん なん
「普通じゃない」 普通の基準は 何ですか
大分県立杵築高等学校 3年 小林 暖

え がお こころ わく ひろ
笑顔がね 心の枠を 広げるよ
杵築市 石丸 一般 堀 直美

※学年は、令和7年度当時の在学年です。

杵築地域人権講演会



と き：8月25日（火）14：00～15：50
ところ：杵築市健康福祉センター 多目的ホール
（杵築市大字猪尾941）

演 題：「すべての子どもを真ん中にした学校
・地域はどうすれば実現できるのか？」

講 師：大阪市立大空小学校 初代校長
木村 泰子 さん

【プロフィール】

大阪府生まれ。2006年に開校した大阪市立大空小学校の初代校長を9年間務める。大空小学校では「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちとともに障害の有無にかかわらず、すべての子どもがいつもいっしょに学び合っている。2015年には大空小学校の1年間を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」が公開され、大きな反響を呼んだ。2015年春に、45年間の教員生活を終え、現在は講演やセミナーで全国の人たちと学び合っている。

◎ 講演会への参加申し込みは
こちらからお願いします。

◎ 電話でも参加申し込みできます。



入場料無料・手話通訳・託児有り

※託児（無料）をご希望の方は、8月14日（金）
までにご連絡ください。

＜問い合わせ先＞人権啓発・部落差別解消推進課
TEL / FAX 0978-62-4799

令和7年度杵築市人権フェスティバル人権作文入賞作品

「私たちにできる小さなこと」

山香小学校六年 新庄 花恵
しんしょう はなえ

あなたは、だれかがインターネット上で、悪口を言われているのを見たことがありますか。

私もふだん、インターネットで動画や、SNSを見ますが、動画のコメント欄を開いたときに、その動画に出ている人のことを、

「○○って正直、きもくないw」

「○○っておばさんみたいない声じゃん」

とコメントしている人がいました。それを見た私は、心がとても痛くなったし、この人のことを何も知らないのに、どうしてそんなことが言えるのだろうかと思いました。人の感じ方や考え方はそれぞれ違いますが、これはしてはいけないことだと思っています。

私は、このことをきっかけにインターネットでの誹謗中傷について調べてみることにしました。その中でも、「見えないところで行われている誹謗中傷」が気になりました。

誹謗中傷は、ネット掲示板や色々なサイト、SNSなどで多くの場で行われています。

また、インターネット上の大きな特徴として、ニックネームや名前が分からない匿名で簡単に投稿できます。私も学校で、つい悪口を言ってしまった人を実際に見たことがあります。インターネット上では、顔も名前も分からないので、誰でも簡単にそのようなことを言ったり、知らない人にまで言えたりすることがとても怖いと感じました。また、誹謗中傷で一番つらい思いをするのは、誹謗中傷をされた本人です。自分が生まれ持った性格や声、容姿などを悪く言われるなんて、自分の存在を否定されているみたいで、とても悲しいだろうなと思います。そして、私のようにインターネットを楽しく正しく使うおうとしている人たちにも、嫌な思いをさせると思いました。

私が、インターネット上の誹謗中傷を調べて考えたことは、「相手の気持ちを考える」ことです。単純なことですが、面と向かって人と接している時もネット上でも、とても大切なことだと改めて思いました。軽い気持ちで書き込んだことや言ってしまったことが、最悪の場合、相手を死に招いてしまうことがあります。インターネットがよく使われるようになったからこそ、正しい使い方をよく考え、みんなが気持ちよく使えるように使うことが必要です。言う前、書き込んでしまう前に、相手の気持ちを考えて判断することが私たちにできる小さな一歩だと思うので、このことを忘れずに過ごしていきたいです。

問い合わせ先：杵築市人権啓発・部落差別解消推進課 0978-62-4799
杵築市教育委員会 社会教育課 0977-75-2413